~平野区に残る伝統文化にチャレンジ!

ばしょ ひらの としょかん ●場所 平野図書館エントランス

せんせい ほうらくれんがかい

●先生 法楽連歌会のみなさま むりょう もうしこみふよう

●無料•申込不要

さんかほうほう

●参加方法

とうじつ かいじょう 当日、会場にお越しください。

き ひと じゅんばん 〈 来た人から順番に、句をつくっていきます。

* 先生が教えてくれるので、むずかしく ないよ。季節や自然をおりこんで、ひと りが上の句(5・7・5)をよみ、次に、別 の人が、下の句 $(7\cdot7)$ をよんで、ひと つの歌を作るんだ。さらに、別の人た ちが、上の句、下の句と続けていく。 12ぐらいの歌をあわせて、ひとつの ^{ゅんが} 連歌ができあがりだ。



おおさかしりつひらのとしょかん 大阪市立平野図書館

06-6793-0881 大阪市平野区平野東 1-8-2

開館計 ●火〜金曜日 (第3木曜日は休館) 10:00~19:00

●土日祝、7/21~8/31の月曜日 10:00~17:00

●月曜・第3木曜(祝、7/21~8/31の月曜日は開館) 休館日 年末年始、 蔵書点検期間

http://www.oml.city.osaka.lg.jp/?page_id=153



平成
一十七年七
7月三-
十一日

夏休み 笠着連歌

『花火の夜』の巻十二調

於:大阪市立平野図書館 平成二十七1

日 於:大阪市立平野図書館

夏休み 笠着連歌 平成二十七年七月三十一日

『蝉に負けじ』の巻 十二調

拳句	<u>+</u>	+	九	八	t	六	五	四	Ξ	脇	発句
文庫めでたくまきあぐる春	散るもよし枝垂れの桜はなやかに	あふるる思び雪も解けゆく	三人でむかし話をききましょう 惺寫(小	見上げる月を追いかけながら	きもちいいとてもさわやか風の音	ボールをキャッチいるかさんたち	海に行きおさかな釣りはたのしいよ	昼はみんなとわらっているね	太陽が出てきて言うよおはようと	空にいっぱいに咲いたひまわり	きれいだな夜の景色に花火たち
喜 男	絹代	典央	3)愛奈(小2)	悠人	愛桜	陽莉	雅恵	空美	亮哉	空美	永輝
(講師)春	(講師)春·花	(講師)春·雪	惺寫(小3)愛奈(小2)やすまさ(小1)雑	(教諭)秋·月	(小名)秋	(小2)雑	(小2)雑	(小6)雑	(小6)雑	(小6)夏	(小6)夏
挙句	+	十	九	八	七	六	五.	四	Ξ	脇行	発句
本のつばさにあたたかな風	ふるさとにつぎゆく花ぞうつくしき	流るる時はゆるやかにして	雪ふりてアンの話をよむ暖炉	きみとぼくとはいつもなかよし	じゃまするなデート中だぞまたあとで	鹿は寄り来る飛火野の道	山がありのぼる人あり秋なかば	林間でみた月がきれいで	夜空には無数の星がみな笑顔	夏はプールでおよぐ毎日	児ら元気蝉に負けじの歌会かな
くりえ	規子	典央	順子	אטיטיט	和惟	絹代	麻南	朋佳	紗空(小5)#	雅恵	喜久男
(館長) 春	(講師)春·花	(講師) 雑	(講師) 冬:雪	(小2) 雑	(小5) 雑	講 師 秋	(小4) 秋	(小5) 秋·月	紗空(小5)夢生(小3)雜	(小2) 夏	(講師) 夏